

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2009年7月1日発行

「男女共同参画週間」にちなんで、6月6日からスタートした、県内男女共同参画センター3館&5市連携映画祭。男女共同参画の視点でそれぞれ選定された映画を通して、「つながる ひろがるメッセージ」をテーマに開催してきた映画祭もおかげさまで、6月末現在で4会場が終了。いよいよ四日市市は、7月4日13時30分から、文化会館で「ミス・ポター」を上映します。この映画は上流階級の女性が仕事に就くのはとんでもないとされた時代に、男性の協力を得て、ピーターラビット®が主人公の絵本を完成させた女性を描いた映画です。ぜひご覧ください。

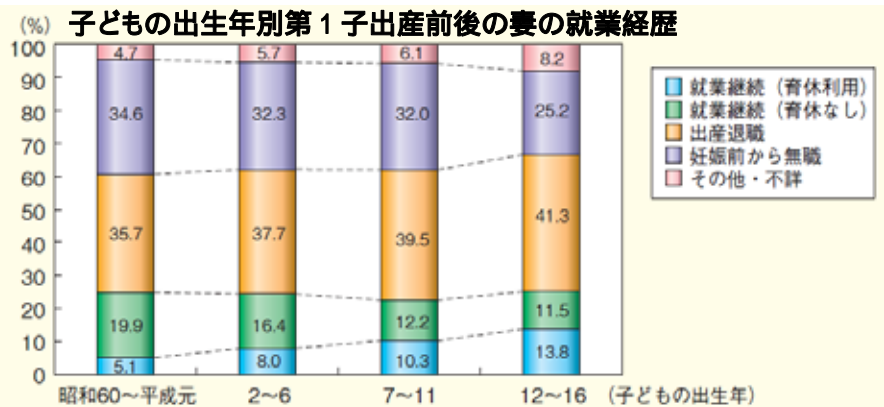


## 平成21年版男女共同参画白書が公表されました！

男女共同参画社会基本法施行から10年。この10年間で、「男女が一人ひとりの人間として平等に活動できる社会」に向けて、少しずつ前進してきました。しかし、まだまだ課題があります。

### <子育て期に離職していく女性たち>

5月末に発表された男女共同参画白書によると、育児休業取得率について、女性は平成11年から19年までの間で、56.4%から約9割に増加、また、男性は0.42%から1.56%と増加はしていますが、依然として非常に低い状況にあります。また、育児休業を取得している女性の割合は増加しているものの、出産前後に継続就業している女性の割合の合計は増えていないことが分かります(右図参照)。さらに、別の調査では、出産後も同じ仕事を継続しているかどうかについて、正規の場合は67.3%、非正規の場合は22.9%にとどまっているという結果が出ていて、正規と非正規の間で大きな差があることがわかります。女性の非正規雇用は、平成16年以降働く女性全体の半数を超えているので、出産退職者が増える要因になっています。



これらの結果から、行政は、仕事と子育て等の両立ができるよう、制度の拡大・充実をし、そして、企業に対しては、制度を利用しやすい雰囲気づくりなどの働きかけをしていくことが重要ということがわかります。

### <キーポイントは、男性の家庭参画！！>

また、「第6回21世紀成年者縦断調査」によると、この5年間に子どもが生まれた共働き夫婦では、夫が平日家事・育児に参画している家庭ほど、妻が継続就業している割合が高いことも分かっています。

このように、女性が仕事と子育て等との両立を実現するためには、男性が家庭に参画できているかどうか重要です。このため、男性が家庭に参画できるような時間をつくるためにも、男性の働き方の見直しを含めた仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を進めることが重要です。

また、出産を機に離職した女性が、もう一度働きたいと思ったときに復職できるような支援の拡充を目指していくことも、重要と考えます。はもりあ四日市では、9月に、一旦離職した女性の再就職を支援する講座「今年中に仕事を持つ方法」を開催します。詳細は、来月号に掲載します。ご期待ください。

# 今年も“夏休み子どもさんかくカレッジ”開催します！！

8月に、小学生を対象とした「夏休み子どもさんかくカレッジ」を開催します。ぜひご参加ください。

## 自由研究をやっつけちゃおう！ ちょこっとさんかく教室

8月20日(木) 10:00～12:00

(内容) 男女共同参画クイズと牛乳パックを使ったおもちゃ作り

(定員) 親子20組

(場所) 本町プラザ2階 第1会議室

(参加費) 無料



## 大好きパパ応援団「大好きパパとそばうち体験」

8月22日(土) 10:00～13:00

(内容) そば粉から“そば”をつくろう

(定員) 男性と子どものペア 8組

(場所) はもりあ四日市調理室(本町プラザ3階)

(参加費) 1組 1,500円

### 申込方法

希望教室名・住所・名前(ふりがな)・学年・電話番号・参加する保護者名を往復はがきで、〒510-0093 四日市市本町9-8 はもりあ四日市 まで。8月7日(金)消印有効。

## 募集します！

### 21年度の調査・研究委託事業のテーマは 「企業におけるワーク・ライフ・バランスの取り組み状況」

はもりあ四日市では、毎年、男女それぞれが自分らしく生きていくうえで支障となっている問題を、男女共同参画の視点で掘り起こし、調査・研究していただけるグループを募集し、事業委託をしています。

今年度は、

企業と男女共同参画の実現に向けて連携していくための基礎資料づくり

基礎資料をもとに、調査した企業の先進的な取り組みをはもりあ四日市のホームページで紹介することを目的にした調査研究を行います。

市内の企業がどのようにワーク・ライフ・バランスの推進に向けて取り組んでいるのか、調査していただけるグループを募集します。

【テーマ】企業におけるワーク・ライフ・バランスの取り組み状況調査

【内容】四日市市の企業(複数)のワーク・ライフ・バランスの取り組み状況を聞き取りやアンケートにより調査し、回答結果を分析集計のうえ、報告書を作成していただきます。

【対象】市内に在住または通勤・通学する人で構成され、市内で活動し、男女共同参画社会の形成に関心があるグループ。

【募集グループ数】1グループ(人数制限はありません)

【事業の実施時期】委託を受けた日から平成22年2月27日まで

【申込期間】7月1日～31日(17:00必着)までに、所定の用紙をはもりあ四日市にご提出ください。

【問合せ】はもりあ四日市(TEL 354-8331 FAX 354-8339)

日・月曜日休館です。

# 女性のための相談室のご案内



「相談したいけど、何をどうやって話していいのか、わからないんです」

「もっと大変な悩みの方がいらっしゃるのですが、どこにも相談できないので、聞いてもらえますか」  
受話器の向こうから、不安な思いを持ちながら、勇気を持ってかけてくださった第一声です。

女性の相談員が、悩みで混乱している相談者の気持ちにゆっくりと添いながら、解決へのきっかけを一緒に考えていきます。

相談室ではこんな相談を・・・

自分自身の生き方

家族のこと

夫婦のこと

夫・恋人からの暴力

男女のこと

職場の人間関係

離婚のこと

いつでも、あなたの一步を応援します

電話 059-354-8335

相談時間 火～土曜日 9:00～12:00、13:00～16:00 (面接は要予約)

次回からは、一番多い相談の  
「夫・恋人からの暴力」について  
連載していきます。

## 今月のおすすめ本

先月、2008年の合計特殊出生率が1.37と発表になりました。出生率は3年連続の上昇となりましたが、少子高齢社会真っ只中にあることに変わりはありません。

今月は、本のタイトルに「少子化」が入っている本を2冊紹介します。

### 「少子化克服への最終処方箋」

少子化対策の基本的視点は、「産みたいと思っている人、育てたいと思っている人を支援することで“産めよ、増やせよ”ではない」と書かれています。子育てもして、社会的な役割も果たしたいと思っている人が過度な負担なく、楽しく幸せに子どもを産んで育てられる社会をつくるにはどうすればいいかの提案がなされている本です。

今月、この本の著者に市職員研修をしていただきます。

### 「これでいいのか少子化対策」

この本は、「少子化対策」という狭い視点からの施策の企画・立案ではなく、子どもとその家族を社会的に支援する、「家族政策」という視点からの取組みが必要であることを提唱している本です。



今月のキーワード

## ダイバーシティ

一般的には“多様性”と訳されます。人はそれぞれ、国籍・性別・文化・地域・年齢・学歴・ライフスタイルなどの多様な違いがあります。そういった多様な個々の「違い」を受け入れ、価値を認め、活かしていくこと、つまり『多様性の受容』という意味として使われています。

社会のあり方や顧客のニーズが多様化する今、企業も様々な従業員の多様なアイデアや価値観を活かすことが必須となってきています。そのためには、従業員が持つ価値観やニーズにあった働き方が選べるよう、多様な選択肢を用意することが求められています。

ダイバーシティという考え方を組織に取り入れることで、企業にとっては競争力、収益性、成長性を高める効果があり、従業員にとっては個人のワークスタイル、ライフスタイルを生かしながら、各自が持つ様々な能力を最大限に発揮できるようになります。

成熟した社会のあり方として、必然の考え方といえるでしょう。

## 登録グループイベント情報

### 7月21日(火) 貯筋体操

血圧と体組成を測定した後、筋肉を育てる体操をしています。一緒に気持ちよくひと汗かきませんか。

時 10:00～12:00 費 無料 所 はもりあ四日市 会議室

問 まんなか 金森 (TEL059-353-5893)

### 7月25日(土) 四日市おもちゃ病院の開院

壊れたおもちゃをおもちゃドクターが修理します。

時 14:00～16:00 費 修理費用は無料ですが、施設使用料として300円が必要です。

所 四日市まんなか子ども劇場 「きらら」

問 四日市まんなかこども劇場 (TEL059-351-6670)

### 8月1日(土) 身近な人の飲酒や薬物の問題でお悩みの方へ <四日市・アラノンの集まり>

アラノンはアルコール(または薬物)の問題を持つ人の家族と友人の全国的な自助グループです。

このセミナーでは多くの家族が苦しみの中から勇気と希望を見出している姿に出会うことができます。

同じ経験をした仲間と心を開いて話し合いませんか。関心のある方なら、どなたでも参加できます。

時 14:00～16:00 (13:30 受付開始) 費 無料 所 本町プラザ2階 第1会議室

## 登録グループ紹介

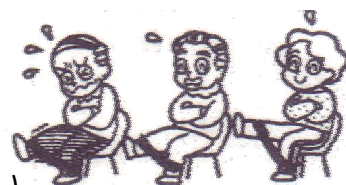
はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、まんなかさんです。

# まんなか

代表者 金森 和美 会員数 30名  
連絡先 059-353-5893

健康でいつまでも暮らせるよう、筋肉を鍛えたいと毎月第3火曜日の午前中、現在50代から80代までの方がストレッチとスロートレーニング、セラバンド(リハビリ用のゴムバンド)を使った、貯筋ならぬ貯筋体操に楽しく取り組んでいます。また、健康についての勉強会も開催します。

「はもりあ」に常備の「まんなかニュース」をご覧になりぜひ参加してください。



### はもりあイベント情報について

情報紙『はもりあ』は、市内の主要施設、各地区市民センター及び楠総合支所、はもりあに登録されているグループさん、個人登録や講座を受講された市民の皆さん約250名に配布しています。

登録グループの皆さん、登録グループイベント情報に掲載する情報をお待ちしています。ぜひお寄せください。



### 四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>